



間伐材活用研修の開催

「間伐」は木の成長を促すほか、土砂災害などの防止にもつながり、森林を守るために重要な作業です。今回は、間伐の役割について学び、間伐材の丸太を使ったスツール（一人用の木の椅子）作りの実習をします。

自分の山から切り出した材の利用法が増えることは、森林所有者の所有林への関心を高め、地域の森林整備を進める大きな力となります。参加者募集の広報と当日の取材について御協力くださるようお願いいたします。

【事業概要】

- 1 日時** 令和6年7月20日(土) 午前10時から午後3時まで
「小雨決行」
- 2 場所** ひやくねん森(鶴岡市三瀬字大豆沢17-1)
※三瀬ICより車で1分
- 3 募集** 10名(先着順) 参加費無料
申込締切 令和6年7月12日(金)
- 4 内容**
 - (1) 間伐の役割についての講義
 - (2) チェーンソーによる丸太加工の実習
地元の林業士の方の指導の下、間伐材の丸太を使ったスツールを作ります。
- 5 講師** 地元の林業士等
- 6 対象** 庄内管内の森林所有者の他、森林整備や林業に興味のある方
※自力でチェーンソーを操作できる腕力が必要です。お子様等参加の場合は保護者の同伴が必要です。
- 7 その他**
 - (1) チェーンソーやヘルメット等
参加者に使い慣れたものを御持参いただきますが、貸出しにも対応しますので持っていない方も御参加いただけます。
 - (2) 実習で作成するスツール
参加者1人につきスツール1脚を作成します。
作ったものは参加者が持ち帰りできます。
 - (3) 参加者の傷害保険は主催者側で加入します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



担当：森林整備課
課長補佐 齋藤 朱美
電話：0235-66-5534